CYBER GAUGE
OBD or SENSOR SYSTEM

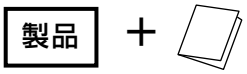
取扱説明書

OBDタイプ

ブースト計 **COB**
水温計 **COW**
電圧計 **COV**
タコメーター **COT**
OBDユニット **COU**

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

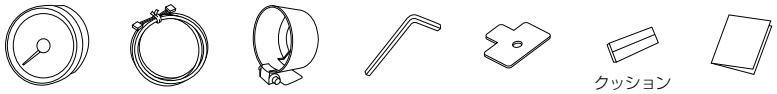
●製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



目 次

セット内容・警告・注意 …… 1
特長 …… 1
各部の名称と各機種 …… 2
配線接続方法 …… 2~3
製品の固定 …… 3
基本操作方法 …… 4
表示の切り換えと設定方法 …… 4
故障かな?と思ったら …… 4

内容物をご確認ください



メーター本体 / メーターケーブル / メーターホルダー / ヘキサゴンレンチ / 両面テープ / クッションテープ ×2 / 取扱説明書（本書）

メーター作動にはOBDユニット(COU)が必要です。

OBDユニット内容物

OBDユニット / OBDコード（ヒューズ3A） / IGNコード（ヒューズ3A） / 両面テープ / インシュロックバンド（大）×2、（小）×5 / カットギボシ ×2

1. ECUが純正品と異なる場合や、サブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しない場合があります。
2. 故障診断コネクターを利用する他社の製品とは併用できません。
3. PIVOT製OBD2装着製品の併用についての詳細は、こちらをご確認ください。 ⇒ *http://pivotjp.com/obd/*

⚠ 警告

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

●換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。

●コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輌破損の危険があります。

●運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。

●製品固定、配線処理は確実に行う
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠ 注意

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

●DC12V車で使用する
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。

●装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。

●薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。

●高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。

●ネジ・部品は元の状態に戻す

●まぶしく感じる場所には装着しない　●加工・分解および改造をしない

特 長

■簡単装着のOBDタイプ
故障診断コネクターに差し込むだけの簡単装着。

■ローポジション
新型のメーターホルダーは従来比5mm低い位置に設置。

■イルミ照明
文字と針はホワイトLED照明。

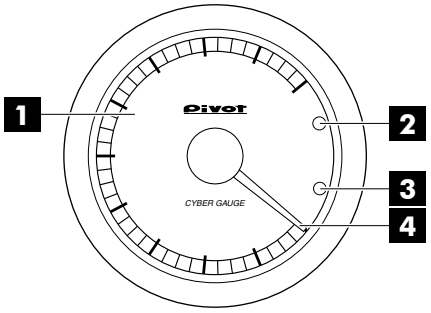
■ワーニングとピーク
設定値を超えると赤LEDが点滅するワーニングとピーク値も表示可能。

■高精度ステッピングモーター
高精度で応答性が早いステッピングモーター。

■リンク接続もできる
別売のリンクケーブルでメーター間とユニットを一本の配線で接続。

各部の名称と各機種

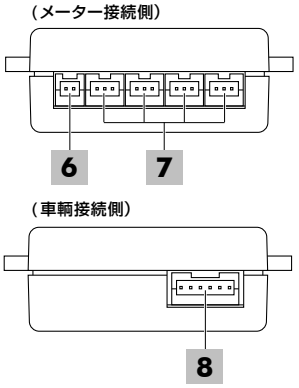
【メーター】



1 **表示部** 各データを表示
2 **LED** ピークとワーニングをお知らせ
3 **スイッチ** ワーニング設定・ピーク値の表示とリセット
4 **針** 現在の数値やピーク値を表示
5 **イルミ** 表示中イルミは常時点灯（文字：白、針：白）

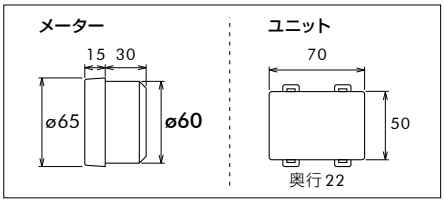
6 **予備** 使用しません
7 **メーター用コネクター** メーターケーブルを接続
8 **電源用コネクター** OBDコードを接続

【ユニット】



品名	品番	表示	ワーニング	ピーク値
ブースト計	COB	-100 ～ 154kPa	設定値以上	最高側
水温計	COW	20 ～ 120°C	設定値以上	最高側
電圧計	COV	7 ～ 17V	設定値以下	最低側
タコメーター	COT	0 ～ 9000rpm	設定値以上	最高側

サイズ [単位：mm]

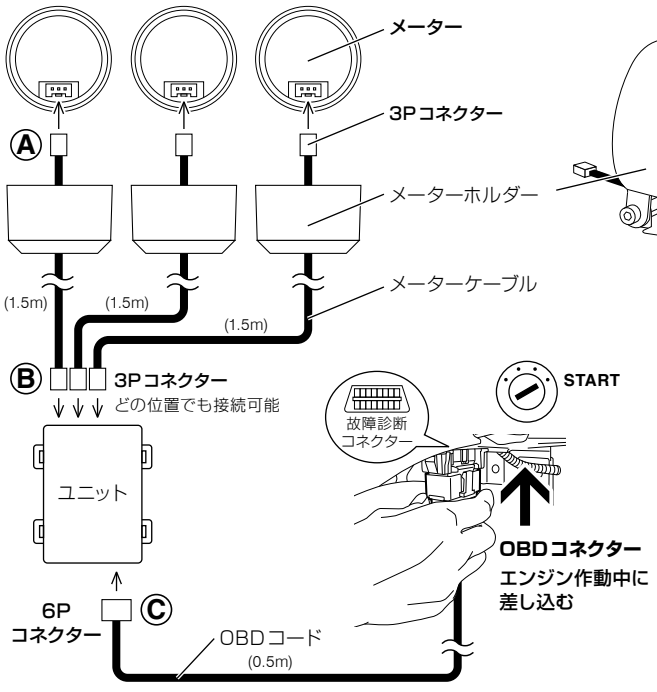


配線接続方法

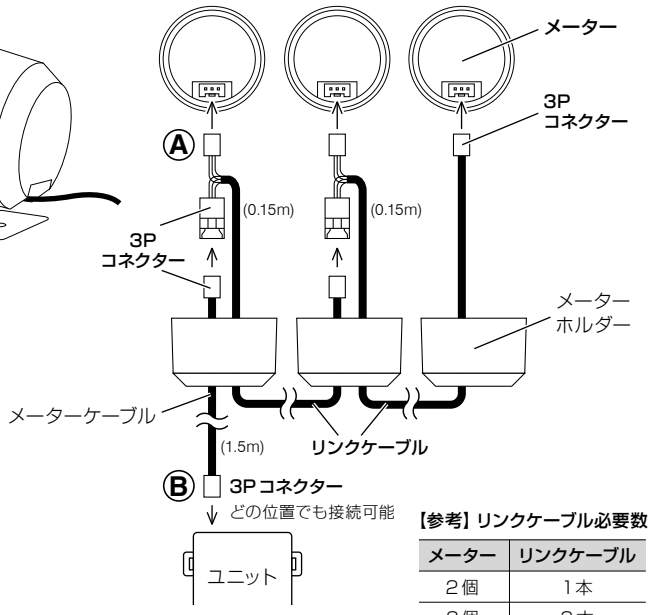
1 Ⓐ Ⓑ Ⓒ の各コネクターを差し込む
2 エンジンを始動しOBDコネクターを差し込む

※ メーターは最大４個まで接続可能

基本配線



リンク配線（リンクケーブルは別売品）

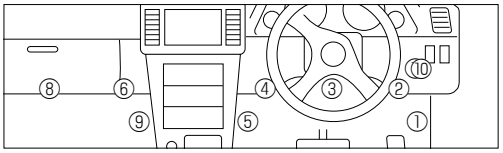


OBDコードの接続は基本配線と同じ。

【参考】リンクケーブル必要数

メーター	リンクケーブル
2個	1本
3個	2本
4個	3本

故障診断コネクター位置図



トヨタ	①②③④⑦	マツダ	②④⑩
ニッサン	①②③④⑤⑦	スバル	②③
ホンダ	②④⑤⑥⑧⑨	スズキ	②④
ミツビシ	②③④⑤	ダイハツ	②③④⑤

① アクセルペダル脇
② 運転席足元右側（フタ付の場合あり）
③ 運転席足元中央
④ 運転席足元左側（フタ付の場合あり）
⑤ センターコンソール右脇
⑥ 助手席足元右側
⑦ ステアリング脇パネル裏（フタ付）
⑧ 助手席足元左側
⑨ センターコンソール左側
⑩ ステアリング右パネル（小物入れ上部）

OBDコネクター取扱時の注意点

差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。

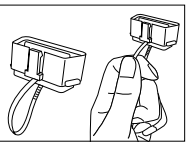
⚠注意

コネクター抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。

凸部を握れない場合

車種によっては、コネクターが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。

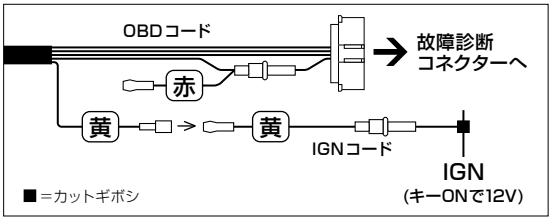
その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。



電源をIGN接続する場合（通常は不要）

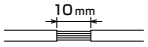
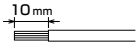
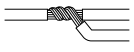
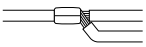
下記の一部車種は右図のように電源をIGN接続してください。

	症　状	原　因
スバル車の一部（86 含む）	エンジン停止後、メーターが切れるまで約1分位かかる。	車輌側との通信上の問題ですが、配線を変更しなくてもクルマへの支障は一切ありません。
スズキ車の一部	メーターが作動しない時がある。	車輌側との通信上の問題です。



●OBDコードの赤と黄コードのコネクターを抜き、黄コードのコネクターにIGNコードを接続し車輌のIGNへ接続。（ACC不可）

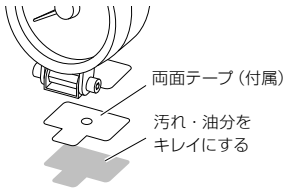
カットギボシの使い方

1	2	3	4	5	
					かしめる際は圧着ペンチを使用するか、ペンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。
接続するコードの被ふくをむく。	製品コード先端の被ふくをむく。	両方の芯線を絡める。	確実にかしめる。	ビニールテープで絶縁する。	

製品の固定

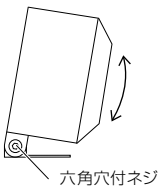
メーターの固定（メーターホルダー使用）

① メーターホルダーを両面テープで固定する。（貼り付け部の油分や汚れはキレイにする。）

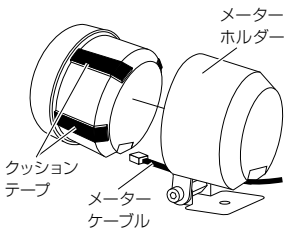


※粘着力が低下するため、貼り直しは行わないでください。

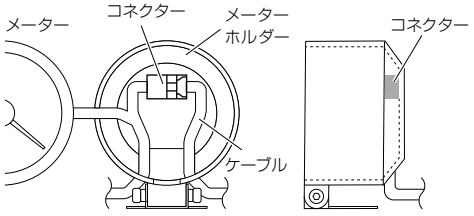
② ネジを少しゆるめ、見やすい角度に合わせた後、ネジを固定する。



③ メーターにクッションテープを2～4ヶ所貼り、メーターケーブルを接続しメーターホルダーに差し込む。

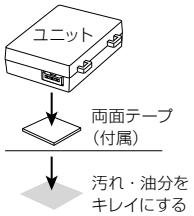


●リンクケーブル使用時はコネクターを図のようにメーターホルダー奥へ収納しメーターとメーターホルダーに隙間ができないように差し込む。メーター間で余ったケーブルはメーターホルダー内に押し込む。

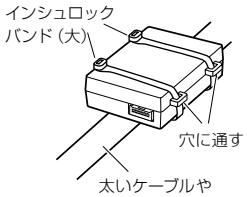


ユニットの固定

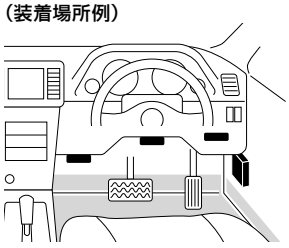
平面に固定する



ケーブルやパイプなどに固定する

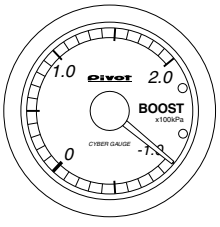


（装着場所例）



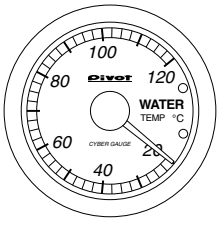
図のような、水のかからない場所に固定してください。

メーターの特長



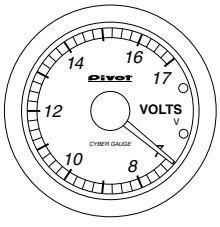
ブースト計　**ターボ車の必需品**

ブーストチェックからバキューム側はエコ運転の目安までターボエンジンの必需品。



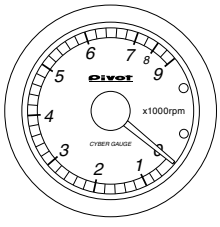
水温計　**オーバーヒート予防から暖機チェックまで**

冷却水不足や、冷却経路トラブルからの水温上昇によるオーバーヒート予防や、暖機運転のチェック



電圧計　**新時代システムのバッテリーチェック**

アイドリングストップ時の電圧降下や、始動時の最低電圧確認によるバッテリー寿命の判断や、回生ブレーキによる充電状況をチェック。



タコメーター　**スポーツからエコ運転まで**

AT車からMT車まで正確なシフト操作や、エコ運転の目安となるドライビングの基本メーター。

基本操作方法

1 キースイッチを ONにする （エンジン始動）

2 オープニングデモ

3 通常表示

4 キースイッチを OFFにする （エンジン停止）

5 メーター OFF

オープニングデモ

●針の位置を検出するため、最低値側の位置へ数回動き、その後最大値を指し、表示項目に移行します。

※車輌との通信上、エンジン始動数秒後にメーターが作動する場合があります。

表示の切り換えと設定方法

ピーク値表示

1 スイッチを 1回押す

メーター作動中にスイッチを1回押します。

2 ピーク値表示

LEDランプが点灯します。

3 通常表示

スイッチをはなしてから3秒後に通常表示に戻ります。

※各ピーク値はキー OFF でリセットされます。

ピーク値リセット

1 スイッチ 3秒長押し

ピーク値表示中にスイッチを押し、ピーク値をリセットします。

2 ピーク値リセット

LEDランプが消灯します。

3 通常表示

電圧計による最低電圧測定

1

キースイッチをONにしてメーターを通常表示にする

2

エンジンを始動しピーク値表示にて最低電圧を確認してください

●バッテリーの電圧が新品時より約1V以上低い場合は交換や充電をお勧めします。

ワーニング設定

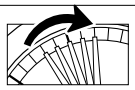
※ピーク値表示（LEDランプ点灯）中はワーニング設定できません。

1 スイッチ 3秒長押し

メーター作動中にスイッチを3秒長押しします。

2 現在のワーニング値表示

LEDランプが点滅します。

3 スイッチを 押す 

スイッチを押すごとに設定値が上がり、最高値に達すると最低値に戻ります。

スイッチを押し、設定値を切り換えます。

※スイッチを押し続けると針は最高値まで連続して上がります。
※COVは針の動きが逆になります。

4 スイッチを はなす

5 通常表示

スイッチをはなしてから3秒後にLEDが消灯し通常表示に戻ります。

故障かな?と思ったら

症　状	原　因	対　策
メーターが作動しない。	メーターケーブル / リンクケーブル / 6Pコネクター / OBDコネクター / IGNコード の接続不良。	再度ご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車種表をご確認ください。
	キー OFFの状態で OBDコネクター を差してしまった。または、バッテリー交換をした。	再度キー ON（エンジン始動）時に OBDコネクター を差し込んでください。
ブースト計の針が「キー ON+エンジン停止時」0から多少マイナスにズレる。	**車輌側センサー（絶対圧）の特性で標高等に応じ1目盛程度ズレますが故障ではありません。**	

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。

株式会社ピボット　〒390-0313　長野県松本市岡田下岡田87-3　TEL0263-46-5901（代）　http://pivotjp.com/